

地域だより

町内会のいきいき実践活動を紹介

登別市連合町内会事務局

市民協働グループ内

☎️ 1079 FAX 7674

災害に強い地域づくりを目指して

新生地区連合町内会（6町会）は、昨年作成した津波避難計画を基に、大津波と土砂災害警報が発令されたことを想定した地域防災訓練を初めて実施し、約500人が参加しました。

持ち出し用のリュックを背負い高台の避難場所を目指したほか、高台に住んでいる方には、土砂災害時の避難場所への所要時間と経路を確認しました。

新生地区連合町内会

会長 水口 清



『歩こう会』で親睦交流と大津波避難訓練

体育の日に合わせて毎年開催している『歩こう会』では、大津波の際の避難経路を想定して各家庭から高台までの『所用時間の確認』を行いながらウォーキングを楽しみました。

幼児から80歳までの町内会員は、坂道や林道など約2キロを歩き、秋の深まりを感じながら爽やかな汗を流し、ゴール後は、抽選会を楽しみました。

富岸地区連合町内会

会長 佐藤 弘子

サロン活動で地域の安全安心を

山手町内会では、2カ月に一度各分野の専門家を招いてサロン活動を実施しています。

交通指導員による『夜間の交通事故防止』や地域包括支援センターの『認知症予防』、『消費者被害防止』などの講話を聞き、知識を深めているほか、リンパマッサージの方法や注意点を学ぶなど、楽しく活動しています。

山手町内会

会長 加藤 清



42年続く『町内会運動会』

10月4日(日)、中央新生町内会では町内会運動会を開催し、前日に草刈りを行った公園で11種目の競技に汗を流しました。

借りの物競争や親子競走、紅白リレーなど、子どもが出場する競技では、父母から『がんばれ』と大きな歓声が沸き上がりました。また、運動会の後は昼食を兼ねた懇親会で楽しい一日を過ごしました。

中央新生町内会

会長 今 平人